



縁

この地球上で、この場所で
こうして出会えた奇跡に感謝
こうしてかかわり合うことが
できる縁を大事にしましょう

平戸市立大島中学校
令和元年度学校だよりNo.23
令和2年1月28日
文責 校長 吉尾直樹

姉妹で特別賞受賞の快挙です

1月26日 「子ども県展」特別賞受賞式

第65回長崎県小・中学校児童生徒美術作品展「子ども県展」の特別賞表彰式が長崎ブリックホールで行われました。

子ども県展は小学生は絵画と版画の2部門、中学生は絵画、版画、デザイン、立体の4部門が行われ、478校から8万232点に応募があり、その中から20点の知事賞を含む60点の特別賞が選ばれます。

本校からは、立体部門で3年の山口綾美ジェイヤレイさんが知事賞を、1年の山口紗瑛フェイスさんが絵画部門と立体部門の2つで造形教育研究会賞を獲得しました。姉妹での特別賞ダブル受賞です。



綾美さんの作品は、かかとを浮かせたスニーカーの躍動感を表現し、紗瑛さんの絵画は大島の海の幸であるタコの動きや質感をダイナミックに示し、立体は平面のレリーフの中に奥行きを感じさせる作品になっています。

また、柳田莉奈さんと山口綾美ジェイヤレイさんが絵画部門で特選に、他にも多くの方が入選しました。おめでとうございます。

こうした作品については、多くの大島のみなさんに見ていただけるように



展示したいと考えています。

1月24日には、長崎県造形教育研究大会平戸・松浦・北松大会が、平戸市や松浦市の小中学校を会場として開かれました。大会では、中尾美和先生が、第2学年「大島の活きのよい魚を描こう（水墨画）」について、松浦史料博物館での水墨画鑑賞と大島の海の幸を題材とした水墨画制作を組み合わせ実践について発表しました。発表については、文化の継承や創造、さらなるふるさとを思う心につながる取組に

なると評価されました。また、会場に展示された2年生の水墨画や1年生の水彩画は、県内各地の美術科の先生方に熱心に見ていただきました。

これからも、こうしていただいたさまざまな評価を励みにして、心が豊かになる作品づくりに取り組みます。

